

令和6年度第2回阿倍野区政会議全体会でのご意見と対応一覧

- 【分類】
 ①当年度(6年度)において対応
 ②7年度に対応予定
 ③7年度では対応できないが、今後引き続き検討
 ④その他

番号	年月	会議	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
1	R6.10	第2回区政会議全体会	【地域と学校との関係について】 地域の現場では担い手不足が共通の問題であり、その解決策は地域コミュニティの育成にあると感じる。学校と地域の関係を密接にし、子どもたち、PTA、学校関係者と地域が日頃から交流を豊かにすることが重要である。これにより、子育て世代と地域関係者の接点が生まれ、相互理解が進むと考える。忙しい子育て世代が地域に目を向けるためには、学校関係者と地域との交流が不可欠である。部会報告では学校や教育関係者との関わりがあまり出てこない点が印象に残る。地域コミュニティを育むためには、教育を含めた全体を見渡せる場が必要である。また、町会加入が低下傾向にあり、区役所が町会加入を促進する印象を受けるが、町会は自立した団体であり、加入促進は町会の責任であると考え。町会の努力が中心であるべきと考え、区役所の側面的な支援を評価しつつも、町会が頑張るべきだと思う。 【今井委員】	地域と子育て世代、相互の理解を進めるためにどういった取組みが必要かを教育担当とも協力しながら進めてまいります。また、今年度から、大阪市で作成する「町会ってなあに？」という漫画の冊子を、区内全10小学校の3年生の授業、教育活動で活用をいただいております。教育現場において町会活動を広めて、保護者にも読んでいただきたいという趣旨で取組んでおります。「大阪市町会加入促進戦略」にもとづく阿倍野区のアクションプランを策定し、町会の加入促進を進めていくにあたっては、地域振興会会長のご意見をいただき、また10連合にも現状をお伺いし、みなさまが町会加入を呼びかける際に使っていただけるような冊子やちらしなどを作って支援を進めております。また広報紙等も継続して活用して自治会、町会への加入について呼びかけていきたいと考えております。	①
2	R6.10	区政会議全体会	【町会加入促進について】 大阪市の町会加入促進戦略について議論があり、町会加入のメリットを見つけることが重要であるとされた。平成23年に市長が交代した際、町会への補助金がカットされ、地域活動協議会には補助金が行くが、町会には行かない状況が続いている。町会の電灯や敬老の行事など、町会が果たす役割を広報紙で強調し、町会の重要性を訴える必要があるとの意見が出ている。町会の運営は町会費でやりくりしており、町会加入のメリットを住民に伝えることが求められている。 【小田委員】	「阿倍野区町会加入アクションプラン」にもとづき、町会活動を担っておられる方が考える町会加入のメリットを後押しし、支援してまいります。また地域をつなぐ仕組みのひとつが地域活動協議会であると考えております。各町会もその中において、活動を引き続き展開していただきたいと考えます。	①
3	R6.10	区政会議全体会	【町会加入促進について】 町会参加を促すためにイベントでチラシやリーフレットを配布してはどうか。町会に入るメリットとして、町会独自で町会費から購入された備蓄品に限り、整理券などを利用して町会加入者に優先的に配布されるというのは、かなり魅力的だと思います。町会費を払っていない人にもイベント参加や記念品配布の際に月額分の負担金を求めることはできないか。 【金光委員(事後意見)】	町会加入のチラシについては、あべのカーニバルなどのイベントや、区役所の窓口で配布するとともに、各地域へも配付し、活用していただいております。町会加入の特典、金額負担等につきましては、各町会での判断となります。	①
4	R6.10	区政会議全体会	【地域コミュニティづくりについて】 将来ビジョンの戦略1-1「人がつながり、安全・安心とにぎわいを未来につなぐまち」では、各地域の実情に即した支援が必要とされるが、具体的な支援内容については費用の援助や人員派遣などどう考えているか。 【東野委員(事前意見)】	担い手不足に対応するため、スポット的に活動できるボランティアを募り、地域とつなぐことで地域活動への参加のきっかけ作りを支援します。また、SNSの発信方法、フォロー数を増やす方法等、地域の実情に合わせた支援を考えております。	①
5	R6.10	区政会議全体会	【若年層の防災意識の向上について】 将来ビジョンの戦略1-2「災害に強いまちづくり」では、若年層の参加率が低いことが課題とされ、興味を持たせるためにスタンプカードを用いた参加促進策を提案する。 【東野委員(事前意見)】	地域ごとの防災訓練では、子どもたちが喜ぶ参加(お土産)を用意する、小学校や中学校を通じて児童・生徒に地域ごとの防災訓練を周知してもらう、幼児や小学生の参加につながるよう、子育て世代をターゲットにしたブースを設置するなど、地域ごとにいろいろな工夫がされています。区役所でも中学校の防災研修などの場で、地域防災リーダーの活動や地域ごとの防災訓練の紹介など、少しでも防災や地域の取り組みについて関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。若年層の参加につながる取り組みを引き続き、検討してまいります。	①
6	R6.10	区政会議全体会	【防災活動について】 「帰宅困難者への対応マニュアル」も、区民の私たちが知っておけるしくみも必要と感じる。防災講演会や防災訓練の場で紹介いただくしてほしい。 現在、区内で女性の地域防災リーダーはどのくらい活動されているか。 【金光委員(事後意見)】	帰宅困難者対策は梅田など市内の6つの商業エリアでの「一斉帰宅抑制」を柱として危機管理室が進めており、阿倍野周辺は「天王寺消防署帰宅困難者対策協議会」で一斉帰宅抑制とその他のための備蓄の奨励や大阪市ホームページで帰宅困難者対応マニュアルのひな形を公表し、協力事業所が作成できるよう周知しています。また、大阪市防災アプリに、一時避難場所や一時滞在施設などを地図上にマークしており、阿倍野区としても、地域ごとの防災訓練やイベント等で大阪市防災アプリの周知チラシを配布しております。 令和6年10月現在、26名の女性地域防災リーダーが活動しています。	①
7	R6.10	区政会議全体会	【高齢者のデジタルツール活用について】 特殊詐欺の問題について、75歳以上の高齢者がスマホやパソコンのアプリを利用する割合は10%以下であり、これらの高齢者がデジタル技術に取り残されていると感じる。特に独居老人にとって、QRコードやインスタグラムの利用は困難であり、高齢者を置き去りにしている現状があると感じる。阿倍野区の広報紙でもインスタグラムの利用方法についての意見があるが、現場で働く人間としては高齢者がデジタル技術に対応するのは難しいと感じる。 【小田委員】	スマホ教室の開催など、デジタルツールに触れていただける機会の提供を行っております。また、特殊詐欺を未然に防止する自動通話録音機を65歳以上の方がお住いの世帯を対象に区役所と警察において、申込制で貸与しております。広報、HP等でお知らせはしておりますが、地域にもっとこの取り組みを広げていけるよう、啓発に努めてまいります。	①
8	R6.10	区政会議全体会	【防犯対策について】 将来ビジョンの1-3「犯罪や交通事故を防ぐまちづくり」では、交通安全教室以外に振り込み詐欺防止講座の実施を求める。また、高齢者向けの固定電話の録音機能付き機械の無料貸し出しを高齢者向けに限定するのではなく、希望者全体に拡大することを提案する。 【東野委員(事前意見)】	現在、市民協働課地域まもり隊による、特殊詐欺被害防止のための「防犯出前講座」を実施しております。最近では、阿倍野警察署の依頼により、「阿倍野防犯区民大会」にて実施させていただきました。地域会館等からのご依頼や、区役所からの働きかけなど、地域会館等で実施できるよう努めております。また出前講座以外でも各イベント等で特殊詐欺防止の啓発を実施しております。自動通話録音機については、区内在住の65歳以上の方がお住いの世帯にお申込みいただき、貸与しています。貸与については市民局でとりまとめをおこなっており、ご提案についてお伝えしてまいります。	①
9	R6.10	区政会議全体会	【特殊詐欺について】 特殊詐欺対策として高齢者への機器貸し出しは良い取り組みだが、若者が加害グループに引き込まれないよう見守る制度の拡充も必要と考える。若者が「簡単に稼げる」や「高額バイト」に騙されないよう学べるの機会が必要だと思う。 【金光委員(事後意見)】	大阪府警察では小学校高学年を対象とした非行防止教室の開催や「闇バイト」に手を染めないような啓発動画の配信などを行っており、当区としても阿倍野警察署と連携して今後の取り組みについて検討してまいります。	①
10	R6.10	区政会議全体会	【こどもの自己肯定感の育成について】 自己肯定感を持つことは必要なことですが、自己肯定感を育むためにはどのような取り組みが必要でしょうか。 【小田委員】	本市としまして自己肯定感を育むため、道徳教育やキャリア教育の充実を図っておりますが、阿倍野区としまして、当区が実施する事業において、子どもたちが「できた！」と感じられる場を提供することにより、わずかながらでも子どもたちの自己肯定感の醸成につながればと考えております。	①
11	R6.10	区政会議全体会	【こどもたちの異文化交流について】 英語教育に関する取り組みは素晴らしいと思いますが、英語圏ではないアジアなどとの異文化交流があってもいいのではないのでしょうか。 【金光委員(事後意見)】	異なる文化的背景を持つ子どもたちがお互いに学び合い、それぞれの文化的アイデンティティを大切に、共生していく経験は、子どもたちがグローバル社会を生きていくうえで貴重な財産となります。阿倍野区では、今後いっそうのグローバル化の進展を見据えて、国際共通語である英語について、必修化されていない小学1・2年生を対象に教育を支援しております。この事業は小学校へネイティブスピーカーを派遣することにより、英語へ親しみをもち、異文化への理解を深めてもらうことを目的としております。また、最近では非英語圏のアジアの子どもたちの転入もみられ、日本語指導を受けて日本の子どもたちと一緒に学ばれており、学校での異文化交流の機会も増えてきています。	④
12	R6.10	区政会議全体会	【地域福祉活動について】 「地域福祉」の具体的なイメージが区民に伝わっていない。身近なボランティア活動を紹介する場が必要と思う。 【金光委員(事後意見)】	「地域福祉活動」に関する区民アンケートを実施する際に、具体的な取り組み事例を提示して区民の方にイメージしやすくするとともに、区のイベントでも地域福祉活動について情報発信に努めてまいります。	①
13	R6.10	区政会議全体会	【将来ビジョン巻末データについて】 令和2年度国勢調査のデータで、65歳以上の高齢者割合が24.9%、75歳以上が13.5%であるが、75歳以上の割合が65歳以上の中含まれているかどうかを確認したい。また、15歳以上64歳以下が62.4%であることから、資料としての有効性を考慮して表に反映すべきだと考える。 【甲斐委員】	国勢調査人口の表は、65歳以上の割合のうち、75歳以上というようになっており、内数ということになりますので、将来ビジョンの表を修正いたします。	①
14	R6.10	区政会議全体会	【将来ビジョンの成果目標について】 「みんなで支えあう地域づくりと相談支援体制づくり」にかかる成果目標の「地域で支援を必要とする人に必要な支援が行き届く地域社会になっている」と感じる区民の割合が45%以上という目標について、誰もが支援を受けられるべきだと考えるため、50%未満という目標に疑問を持つ。 【甲斐委員】	これまでは40%以上を目標に取り組みを進め、区民アンケートは広く全世代の方を対象に意見をお聞きしており、その結果は、3年度35.7%、4年度43.2%、5年度41.1%であり、最近の2年間は目標値を達成できたため、新たな将来ビジョンではこれまでの達成状況と区政会議での意見等を踏まえ、目標値を45%と引き上げました。引き続き取り組みを進め、目標達成した場合は、成果目標も含め、取り組みの見直しを行ってまいります。	④
15	R6.10	区政会議全体会	【将来ビジョンの成果目標について】 「地域ぐるみで、誰もが元気に暮らせる健康づくり」の成果目標が「運動習慣がある35歳以上の区民の割合:40%以上」となっているが、「35歳以上の区民の中で運動習慣がある方の割合」なのか、「運動習慣がある35歳以上の区民の割合」なのか分かりにくい。意図が分からないため、アンケートに答えにくい。また、なぜ35歳以上に絞っているのかを説明してほしい。 【甲斐委員】	成果目標は「35歳以上の方で運動習慣がある区民の方」という意味でございます。分かりにくい表現は修正いたします。本成果目標は区民アンケートの結果を参考としており、35歳以上としている理由として、区民アンケートの回答が「18歳から34歳」「35歳から64歳」「65歳以上」の3つで区分されているため、壮年と言われる時期である35歳以上の方の回答を参考に設定しております。	①
16	R6.10	区政会議全体会	【将来ビジョンについて】 「誰もが住みたい」という将来ビジョンの目標を見て、20代、30代、40代前半の独身や子どもがいない人たちが恩恵を感じられるか疑問に思った。ワンルームマンションの住人が町会に入りにくい問題と関連していると感じる。区政委員の平均年齢が高く、若い世代の意見が反映されていないと感じる。公募委員に20代、30代のメンバーを加えることで、より具体的な意見を感じるのではないかと感じている。100%を目指すことは難しいが、全ての世代を考慮する姿勢が必要だと考える。20代、30代の意見を反映させることを希望する。 【甲斐委員】	将来ビジョンにおいては、区役所が重点的に取り組むべき施策として、地域コミュニティの活性化や防災・防犯、子育て、福祉などの施策を掲げておりますが、若年層や単身者の皆様への施策も重要であると認識しております。誰もが安心して暮らせる環境を整え、多様なニーズに対応できるような検討を進めてまいります。区政委員の公募委員につきましては、30代、ないしは40代の委員も就任いただいておりますが、20、30代の方や子育て世代の方のご意見を反映できるよう、区政会議の公募委員の募集時にも応募いただけるよう工夫して周知に努めてまいります。	②